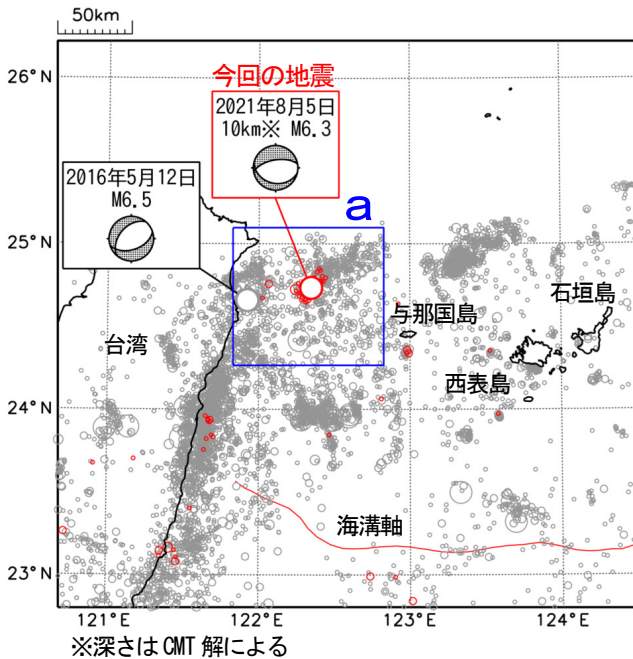


8月5日 台湾付近の地震

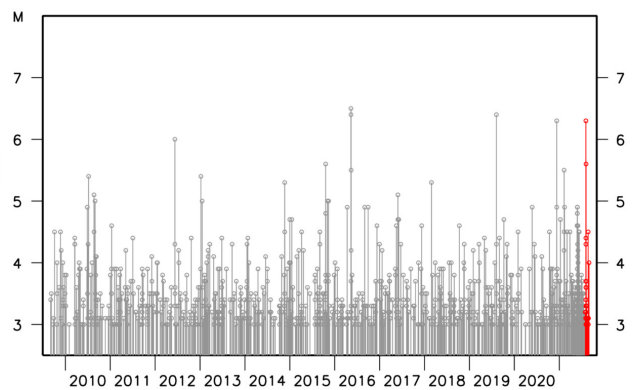
震央分布図
 (2009年9月1日～2021年8月31日、
 深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)
 2021年8月の地震を赤く表示
 図中の発震機構はCMT解



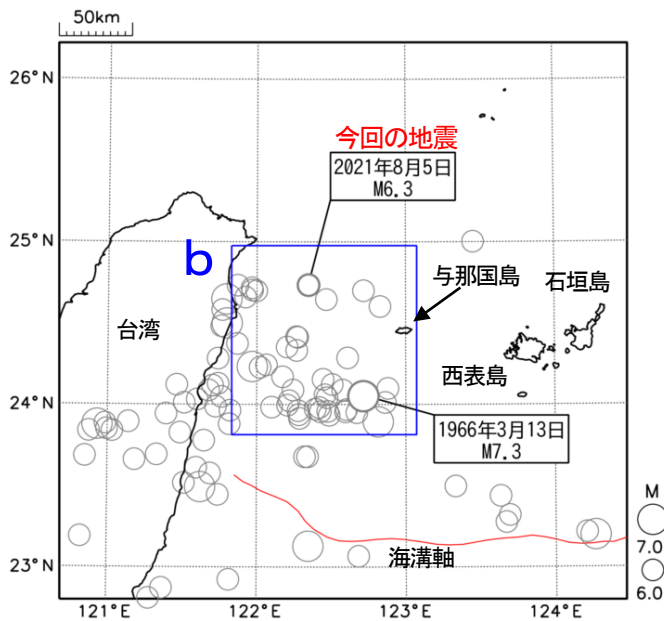
2021年8月5日06時50分に台湾付近の深さ10km（CMT解による）でM6.3の地震（国内で観測された最大の揺れは震度3）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、南北方向に張力軸を持つ正断層型で、陸のプレートの地殻内で発生した。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央周辺（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生しており、2016年5月12日のM6.5の地震では、日本国内で震度2を観測している。

領域a内のM-T図

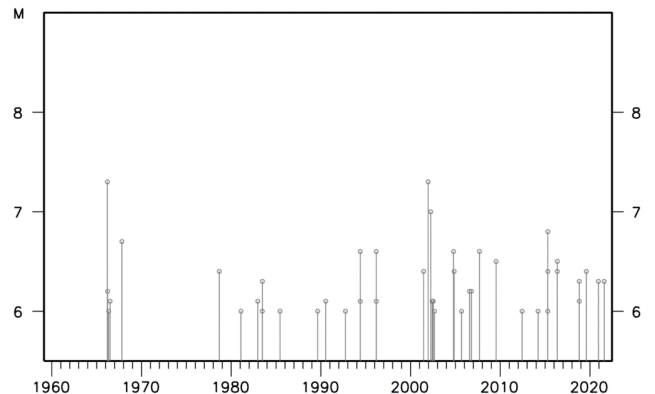


震央分布図
 (1960年1月1日～2021年8月31日、
 深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)



1960年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M7.0以上の地震が3回発生しており、このうち、1966年3月13日のM7.3の地震では、与那国島で死者2人や家屋の全半壊等の被害が発生した（被害は、「日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図



（この期間は検知能力が低い）